

凡例

- A 所管委員会で検討すべきもの
- B 意見として聞き置くもの（いただいたもの）
- C 回答済のもの
- ※ 直ちに執行機関において処理が必要と判断されるもの

令和4年4月27日 市民の声を聞く会 意見交換会 まとめ

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
1	A 経済	大学との交流について	大学との交流が魚沼に根付きやすい。足立区との友好関係が40周年で足立区に5校の大学があるので、この機会に魚沼で活動できないか。学生を呼ぶ仕組みづくりが必要ではないか。	地域創生課	総務文教	B	
2	A 経済	ブランド力向上について	魚沼市は自分のいいところをPRするのが苦手で、足立区の学生の力を借りるのはどうか。	地域創生課	総務文教	B	
3	B 医療福祉	プールについて	コロナ対策はやりすぎだと思う。医療と運動の2本柱でいくべきで、それにはプールが重要だと思う。リハビリにも役に立つ。ただ市内にある寿和温泉は深いプールで、適していないので新しいプールが欲しい。	健康増進課・生涯学習課	総務文教	B	
4	B 医療福祉	プールについて	健康寿命の延伸には、食事と運動が重要。陸上運動をしているが、どんどん悪くなって水中運動だとい。自己免疫をつけることが重要で、生きがいや、医療費の経費減になる。プールを作って欲しい。	健康増進課・生涯学習課	総務文教	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
5	B 医療福祉	現代人の食事について	昔と同じような食事をとっても、ミネラルは取れない。現在の野菜の栄養分は少なく、現代人の食事、特に給食についても考える必要があるのではないか。	学校教育課	総務文教	B	
6	C 教育子育て	子どもの食事について	最近、朝、通学する子どもに元気がないように感じる。食事が関係しているのではないか。3食食べているのだろうか。	学校教育課	総務文教	B	
7	C 教育子育て	学校給食について	学校給食に用いる食材を、体に良いオーガニック給食にしていきたい。麺やパンをなくして、米（ごはん）食にしてほしい。国でも、令和4年度から予算措置を検討しているようなので、市でも予算を付け、価格が高くて無農薬野菜を使えるよう取り組んで欲しい。	学校教育課	総務文教	B	
8	B 医療福祉	まちづくり委員会について	まちづくり委員会にて、健康福祉の部会で何かやれたらと思う。行政依存ではなく、自分たちでできないか。	企画政策課	総務文教	B	
9	D 地域づくり・まちづくり	まちづくり委員会について	まちづくり委員会の新たなスタートに期待（まちづくり委員会を新たな体制でスタートしたい。イベント中心ではなく、プランを市に提起する方法を考えたい。良い街をみんなでつくっていく。）	企画政策課	総務文教	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
10	C教育子育て	スポーツ指導員、Eスポ、スポーツ協会について	指導員を民間に移す動きがあり、令和7年度からは完全移行の予定である。民間人指導となれば、受益者の負担も発生してくる。またこのような動きがある中で、中学校の先生も知らない。スポーツ協会にも情報がない。また、説明会があっても、市教育委員会からの参加はない。市は、指導員養成や講習会など今後予算措置が必要になってくると思う。情報収集に努めていただきたい。また、魚沼市には指導員の数が足りていない。この辺も検討したい。	学校教育課	総務文教	A	
11	C教育子育て	部活動の教員負担について	学校で部活動指導に当たる教員の負担が重い。部活動の時間制限や休日の対応なども決めているが、大会などが近づくと、顧問の負担が重くなる。市として、教員の部活動支援をお願いしたい。また、試合などの早朝からの送迎は保護者任せになっていて、保護者の負担も重い。	学校教育課	総務文教	A	
12	C教育子育て	部活動支援について	市からスポーツ協会に働きかけ、指導員の育成確保に動いていただきたい。指導員確保は喫緊の課題である。	学校教育課	総務文教	A	
13	C教育子育て	教師の学校業務について	教師は、部活動指導が終わった後も残って業務をしている。家に帰れるのは毎日午後9時か10時になる。学業に関係した業務ではなく、事務的な仕事が増えている。	学校教育課	総務文教	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
14	C教育子育て	英語検定について	英語が小学校から新たな教科になった。市では、英語検定に2回まで半額の助成をしてもらい感謝する。英語検定の受験者の取りまとめや、申請事務を学校の教師が行っており、事務処理がかなりの負担となっている。市で事務処理の支援又は申請受付方法の変更を検討いただきたい。	学校教育課	総務文教	※	現在、英語検定補助金の事務は、中学校で取りまとめを行っており、現行どおりで考えております。
15	D地域づくり・まちづくり	地域づくり、高齢者の生きがいづくりについて	人づくりは、人の良さをまねながら行うことが大切。	企画政策課・生涯学習課	総務文教	B	
16	D地域づくり・まちづくり	地域づくり、高齢者の生きがいづくりについて	活性化のために、日本一のベットタウンをつくってはどうか。	企画政策課・都市整備課	総務文教 産業厚生	B	
17	D地域づくり・まちづくり	地域づくり、高齢者の生きがいづくりについて	住みやすい魚沼市の良さや魚沼市の魅力の情報発信を。(魚沼市は住みやすい地域である。終の棲家は魚沼市)	地域創生課	総務文教	B	
18	D地域づくり・まちづくり	結婚、出会いの場の提供を	魚沼市で結婚、子育てをしたい。結婚の機会、出会いの場を市で提供して欲しい。	地域創生課	総務文教	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
19	D 地域づくり・まちづくり	資源の有効活用を地域づくりに活かすことについて	日本の食料自給率は30%、しかし魚沼は美味しい水や空気、食べ物は豊富である。魚沼の市民は自信をもってほしい。	企画政策課	総務文教	B	
20	A 経済	魚沼産コシヒカリについて	米は売れなくなって来ている。米粉を使ったパンや麺の食文化が必要ではないか。里山まつりで宣伝してみないか。	農政課	産業厚生	C	
21	A 経済	農業関係の担い手不足について	農業するのに魚沼はいいところ。都会からもっと人を呼べないか。十日町や松代は力強い活動をしている。魚沼も負けじとできないか。	農政課	産業厚生	C	
22	A 経済	その他	街の一体感が感じられるのが理想で、観光協会に所属している行政、商工会、観光協会の動き、みんなで協力してできないか。	観光課・商工課	産業厚生	B	
23	A 経済	スキー場について	最大限、活かせるような計画を練ってほしい。	観光課	産業厚生	A	
24	A 経済	修正案可決を出さなければならなかった理由について	原案賛成 修正案賛成。反対の理由も明記するべき。	財務課 観光課	総務文教産業厚生	C	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
25	A 経済	木材活用について	農地より森林が多い。国産で棺が作れないか。産業として成り立つのではないか。	農林整備課	産業厚生	B	
26	A 経済	花に特化したまちづくりによる集客について	芝桜、福山の桜は問い合わせ多く、花に特化したまちづくりができないか。須原スキー場山頂は、手入れをすれば集客できる。	観光課	産業厚生	B	
27	B 医療福祉	健康のあり方について	98歳まで生きた母は、いろいろな薬を飲んでいて、手の震えが止まらなかったが、薬をやめたら治った。薬が本当に良いのか疑問に思う。	健康増進課	産業厚生	B	
28	B 医療福祉	自立した健康と暮らしについて	一人になってどう暮らしていくか、健康な人が集まれる場所があったらと思うがどうか。	福祉支援課・健康増進課	産業厚生	A	
29	B 医療福祉	地域の医療福祉課題について	コロナ後遺症を聞いているが問題だ。上越市にはコロナ外来があるが、ここにはない。	健康増進課	産業厚生	C	
30	B 医療福祉	地域の医療福祉課題について	独居老人、老老介護なども多い。どこに帰るのか。助け合いの仕組み作りを。	福祉支援課・介護福祉課	産業厚生	A	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
31	B 医療福祉	介護保険下での福祉政策について	2100年は明治時代と同じ人口になる。高齢者が最期までいきいきとした生活ができるか。地域で支えてくれる人はいるか。考える必要あり。外国人人材について、どこまで行けるか。介護福祉課では高コストで費用面から難しい。介護保険料金については、特養を造ると、また上昇する。	介護福祉課	産業厚生	B	
32	B 医療福祉	魚沼の未来像について	元気な年寄が引っ張っていく、皆の茶の間を明るくしたい。	福祉支援課	産業厚生	B	
33	B 医療福祉	福祉面での公共交通について	コロナが落ち着けば、じよんのびサロンを開いてみたい。室内でなく室外でやろうと思うけど、交通費が高い。市で車を出すなど、何かできないか。	福祉支援課	産業厚生	B	
34	B 医療福祉	後遺症外来について	コロナ3回目に異質さを感じる。ワクチンには危険さがある。後遺症で苦しんでいる人がいる。対策すべき。後遺症外来など、何かあれば国にあげるべきシステム作りを。	健康増進課	産業厚生	B	
35	B 医療福祉	予算の使い方について	健康診断が健康寿命に繋がっているか疑問。数値を下げていることが生きがいなのか。元氣こそが生きがい。健康診断はするべきでない。将来的に前向きになれない。何もしないほうが自然免疫につながる。コロナに市税3億円使うより、高齢者に使うなどのほうが得策ではないか。	健康増進	産業厚生	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	その他	※執行部回答
36	C教育子育て	新型コロナ対応について	育ち盛りの子供に、ワクチンは有害だ。市が積極的に取り組むことに疑問がある。また、マスク着用も子供には必要ない。着用を強制するのではなく、個人意思に任せるべきである。	健康増進課	産業厚生	B	
37	D地域づくり・まちづくり	地域づくり、高齢者の生きがいづくりについて	高齢者と子どもの交流の場として、子ども食堂を市内で展開を。(高齢者と子ども食堂の交流活動を。子ども食堂が市内のあちこちにできればよい。)	福祉支援課	産業厚生	B	
38	D地域づくり・まちづくり	資源の有効活用を地域づくりに活かすことについて	ごみ資源や再生可能エネルギー資源の有効活用を地域づくりに活かす方法を ・魚沼のエコプラントの熱資源を有効活用 ・ゴミを少なくする、リサイクルが必要 ・家庭で取り組める生ごみ処理機のコンポストの普及を市で講習し、ポイントを付けたいかがか。 ・春の雪解け水、夏の太陽、バイオマス等再生可能エネルギーが豊富、活用したらどうか。	生活環境課	産業厚生	A	
39	D地域づくり・まちづくり	公共交通の乗り場について	公共交通の乗り場等、利用者目線での改善を。	生活環境課	産業厚生	A	